



index

特集

- 院長挨拶
- 作業療法士の新しい挑戦
—NICU/GCUリハビリチーム編—

トピックス

- リニューアルしたNICU/GCUの紹介
- 「障害者総合支援法」について
- 正確な骨粗しょう症の診断のために
- 江南市民駅伝大会に参加

イベント紹介

- 公開医療福祉講座
- クリスマスゴスペルコンサート
- 大正琴ミニコンサート

お知らせ

- 看護師・助産師募集
- 「看護の日」イベント
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー

病院理念

- 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

院長挨拶



院長 野木森 剛

このたび、加藤前院長のあとを引き継いで院長に就任いたしました、野木森です。広報誌から皆様にご挨拶を申し上げます。

江南厚生病院として、平成20年5月に開院してから5年が経ちましたが、今後とも、子供さんからお年寄りまで、地域住民の皆様にご信頼され安心して受診していただけるような病院を目指して努力していく所存です。

少し私の自己紹介をいたしますと、私は生まれも育ちも江南市高屋町で、古知野東保育園、古知野東小学校、滝中学、滝高校、名古屋大学とずっと卒業まで自宅から学校に通いました。現在、愛北看護専門学校や江南短大の建っているあたりは、私が小学生の頃にはまだ一面の松林でした。子供の頃には、落ちて枯れている松の葉を拾い集めにきて、お風呂を沸かす時の着火用に使った記憶があります。昭和49年に医学部を卒業し、厚生連加茂病院（現、豊田厚生病院）で研修と勤務、その後、大学勤務、留学等を経て、昭和62年7月に昭和病院の内分泌代謝科部長として地元に戻ってきってから27年が経ちました。厚生連の病院には医師としての大半の期間である31年間勤務していることになります。その間、医療も

社会も著しい変化をいたしました。

昨年末には自民党が衆議院選で勝利し、医療に対する政策も今までと変わっていくことが予想されます。かつて小泉政権時代にマイナスシーリングで病院経営が甚だ困難になった時代がチラつきます。またTPPの問題もあり、医療においても弱肉強食のシステムが導入されると、国民皆保険の破綻、弱者の切り捨てがおきるのではないかと危惧されます。

このように、医療を取り巻く環境も時代の変遷とともに変化しますが、現在から将来にわたって確実なのは、少子高齢化社会の進行と人口減少、労働人口の減少と経済活動の縮小、破綻している国家予算と社会保障費の増加、介護必要者の増加と介護に関わる人的資源の不足です。

医療費や、人的資源などの医療資源に限りがあるなかでは、そこで行われる医療も変化していかざるを得ないことが想定されますが、私たちはこの地域に住む医療や介護を必要とする人たちに対し、医療や介護を守っていかなくてはなりません。そのためには、当院を含めたこの地域の医療機関や施設が、力を合わせてそれぞれの立場から連

携し、その役割を果たしていくことが大切であると考えます。当院においても、近隣の病院、診療所、介護施設との連携を密にしていく必要があります。

当院は、この地域を代表する医療機関として、住民の皆様の期待に応えられるよう、

今後も努力を続けてまいります。そして、医療、福祉、保健などのそれぞれの部門で、病院の基本理念、基本方針を守り、強い倫理観のもとに、職員一同が医療人としても誇りと情熱を持ち、より質の高いサービスの提供を目指してまいります。

特集
2

作業療法士の新しい挑戦

— NICU/GCUリハビリチーム編 —

皆様は作業療法士(OT)の仕事をご存じでしょうか。昭和病院時代にリハビリテーション技術科に作業療法が設置され、8年という月日が流れました。当時は、整形外科・脳神経外科・内科領域への関わりが中心でしたが、リハビリテーション技術科と関連部署で構成される各専門チーム発足などを追風に、現在では様々な領域で作業療法を展開しています。

NICU/GCUリハビリチームはそれら専門チームの一つです。新生児医療に参入しているOTは全国的にも少なく、この領域の中でいかにOTの専門性を発揮できるのか、日々模索しています。



現在はブラゼルトン新生児行動評価(NBAS)を用いた育児支援に取り組んでいます。両親と一緒にNBASを実施し、児の行動やその特徴(安定行動や不安定行動)について理解を促し、それを踏まえたコミュニケーション・スキル、育児技術を支援しています。

これからもOTは専門性を発揮すべく、様々な場面で奮闘していきたいと思っています。ご要望などございましたら、いつでもリハビリテーション技術科までご連絡下さい。

(文責 吉田慎一)



リニューアルしたNICU/GCUの紹介

平成20年5月開院よりNICU6床(新生児集中管理室)、GCU6床(回復治療室)にて稼働を開始しました。在胎週数28週以上、出生体重1000g以上の低出生体重児及び治療の必要な正期産児を対象に、これまでに約600人の新生児を収容し救命後成長できるように治療、看護にあたってきました。

近年出生数は横ばいもしくは減少傾向にありますが、低出生体重児の割合が増加しています。今後増加が予測される中、治療の必要な新生児に対して早期にかつ適切に医療提供が出来ることを目

指して、平成24年9月よりNICUスペースの拡大とGCUの増床工事に着工し、平成25年3月に完成しました。完成後はNICU6床、GCU12床となりました。医療スタッフも増員され、新生児専門医師・新生児集中ケア認定看護師・臨床心理士・理学療法士・臨床工学技士など複数の職種がチームを作り、日々の治療、看護にあたっています。また地域の保健所、保健センターとの連携も図りつつ、赤ちゃんが一日も早く元気になって家族の元へと退院できるように頑張っています。



5階南病棟
(NICU/GCU)

江南市民駅伝に 出場しました!

2/10
(日)



昨年末、職員の話の中で出た「体力づくりのためにジョギングをしている」という話題が私達の競争心に火を付け、「江南市民駅伝で競ってみよう!」となり、メンバーを集め、当院から3チームが出場しました。

短い練習期間でしたが、駅伝当日は晴天に恵まれ、皆が力を出し切ることで襷を繋ぐことが出来ました。沿道で応援して頂いた人達の中に、私たちに気付かれた患者さんやそのご家族の方達がいらっしまった事を後日聞き、その応援に笑顔で応える余裕の無かったことの反省とありがたさを感じた駅伝となりました。

結果は、7位、15位、16位でしたが、来年は入賞と、近い将来私たちから沿道の人たちへ手を振る余裕のある走りをお披露目できることを目標に、体力づくりを続けていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

公開医療福祉講座

Event
イベント紹介

12月14日(金)に「腰痛に対する運動療法」というテーマでリハビリテーション技術科理学療法士の鈴木、松永より実演を交えお話しさせていただきました。実際にタオルを使用した座り姿勢の説明は、好評をいただけたと思います。多くの方が興味を持って聞いてみえました。



12月14日

院内コンサート

12月12日(水)に愛知江南短期大学オープンカレッジ「The Clear Flow」によるクリスマスゴスペルコンサートが行われました。患者さんたちとクリスマスソングの合唱もあり、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。



12月12日

1月17日(木)に大正琴正流菊八重会による大正琴ミニコンサートが行われました。民謡を口ずさみながら、皆さん楽しい時間を過ごしてみえました。



1月17日

「障害者総合支援法」について

平成25年4月から「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(通称「障害者総合支援法」)」と名称を変えて施行されます。「障害者自立支援法」では身体障害者手帳、精神障害者福祉手帳、療育手帳を所持している方を対象にしていましたが、今回「障害者」の定義に「難病等」を追加したことで、難病患者で症状変化などにより身体障害者手帳を取得できない方が、障害福祉サービスを利用することが可能になります。

これまでも難病患者へのホームヘルプサービス事業などは制度としては存在していましたが、一部の市町村のみで実施され、またサービス内容も限られていたことから利用者はほとんどいない状況でした。

難病患者は障害が固定されている身体障害者等と異なり「痛み」「力の入りにくさ」などの外見では判断されにくい部分や「症状の変化」等の病気の特徴もあります。今回の制度施行が難病患者の生活維持・向上につながればと思います。2階の「医療福祉相談室」では福祉相談を行っております。お困りのことがあればお立ち寄り下さい。



ひとくち コラム

全身用骨塩定量装置の導入

「正確な骨粗しょう症の診断のために」

放射線技術科 伊藤良剛

骨粗しょう症とは、骨の量(骨量)が減って骨が弱くなり骨折しやすくなる病気です。原因として、骨は新たに作られること(骨形成)と溶かして壊されること(骨吸収)を繰り返しますが、このバランスが崩れると、骨がスカスカになり骨が弱くなります。診断には、腰椎のX線写真検査や骨塩定量(骨密度測定)が行われます。

骨塩定量には、QUS法(超音波を用いる方法)、MD法(手のX線写真から計測する方法)、DEXA法(強さの異なるX線を用いて計測する方法)などがあります。

当院では、以前よりDEXA法を用いた前腕骨専用の骨塩定量装置を有していましたが、このたび、正確な骨粗しょう症診断のために、全身用骨塩定量装置(GE社製 PRODIGY ADVANCE)が導入されました。

従来の前腕で測定する装置と比較して、骨粗しょう症により骨折しやすい部分(脊椎、大腿骨頸部)の骨塩定量が可能となり、患者さんの現状に即した評価が出来るようになりました。また、骨粗しょう症の治療の評価にも有用と言われております。

この装置の導入により、より有益な診断情報を提供出来るものと期待しております。



看護師・助産師募集

平成26年4月採用の看護職員を募集します。

看護部 病院説明会 開催予定

| | |
|----------|---|
| 4月20日(土) | 9:30~12:00(開場9:00) 江南厚生病院2階講堂にて 病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。 詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。 ※選考会は8月2日(金)・8月16日(金)に行います。 お問い合わせは 看護管理室 まで TEL 0587-51-3332 |
| 5月18日(土) | |
| 6月15日(土) | |
| 7月20日(土) | |

平成25年 江南厚生病院「看護の日」

「～いのちの誕生から看とりまで～」

ひとは、生まれる時から一生を終えるまで病院を訪れる機会があります。

私達は、対象となる人々の「安全・安楽・自立」を念頭に置いて看護を提供します。

江南厚生病院の看護をご覧ください。



平成25年5月9日(木)・10日(金)
10:00~15:00
江南厚生病院 2階講堂



がん看護専門看護師・新生児集中ケア認定看護師による講演、ポスターによる病棟紹介、癒しのミニコンサート、健康相談などを予定しています。

※どなたでも参加でき、参加費は無料です。

江南厚生病院 看護部

● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付が新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

● 面会のご案内

| | |
|----------|-------------|
| 平日 | 15:00~20:00 |
| 土・日曜日・祝日 | 13:00~20:00 |

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

編集後記

●春の日差しが心地よい毎日となりました。平成25年度が始まり、当院は4月から新しい院長のもとで運営が動き出しました。皆様の中でも多くの別れと出会いがあり、環境が変わった方が多いのではないのでしょうか。無理せず、じっくり行きましょう。

2013年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

4月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

5月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

● 発行日/平成25年4月1日

● 発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300